

**市報**

# 大分市

7.1.1

No. 1164

編集と発行

大分市荷揚町2番31号

大分市秘書広聴室広聴広報課

(☎34-6111)

夜間・休日(☎34-6119)



## 新年のあいさつ



木下 敬之助  
大分市長

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのことと存じます。

市政もお陰をもちまして、順調かつ着実に進展しております。これもひとえに市民の皆様の温かいご理解とご支援の賜と、心から感謝申し上げます。

さて大分市は、21世紀に向けて、自然を生かした、やさしさあふれる、魅力ある都市づくりを基調に、市域全体が活き粹と躍動するまちづくりを推進しています。このような中取り組んできた事業に、商店街活性化や公園リフレッシュ事業、グレードアップ事業、市域内過疎対策事業、文化イベントや観光資源の創出などがあります。とりわけ昨年は、ガレリア竹町、府内5番街、鶴崎ミルキーウエイのオープンや、ふないアクアパーク、日吉原レジャーブールの完成、また、老人保健福祉計画の策定、そして演劇らいぶ'94の開催など、ハード・ソフト両面にわたって充実を図ったところです。さらに、大分駅の高架化とその周辺整備事業も動き始めた年でもあり、市民の皆さんも、大分は確実に変わりつつあると実感していただけた年ではないかと思っています。



安部 武士

## 新年のあいさつ

大分市議会議長

新年明けましておめでとうございます。

大分市民皆様が、輝かしい新春を迎えてられましたことを心からお喜び申し上げます。

大分市は、県都として、また東九州の中核都市として着実な発展を続けておりますが、これもひとえに、市民皆様の市政に対する深いご理解と絶大なご協力の賜であり、厚くお礼申し上げます。

さて、21世紀を目前にして、我が国の社会経済は、国際化、情報化、高齢化が進み、交通、情報・通信の高速ネットワーク化により、経済圏、生活圏は広域化しているところでございます。このような中、本市においても、昨年、整備計画路線であつた東九州自動車道の大分・津久見間の建設に大きな前進がございましたし、年末には大分自動車道の日出ジャンクションが開通いたしました。そして、懸案でありました大分駅高架化事業が県、市、民間が一体となり、その実現に向けての体制が整うとともに、世界に向けた物流の受け皿として、第3セクターの株式大分国際貿易センターが設立されたところでございます。

今後、本市を取り巻くこれらの状況は、高速交通体系の整備を中心に飛躍的に進展し、人と物の流れ

も大きく変わることが予測される中、従来のように市域内の人口増加によっての都市規模の拡大を目指すのではなく、広く周辺の市町村の皆様のご理解をいただきながら、共に栄える都市にしなければならないと考えるところでございます。

また一方で、高齢社会の到来が着実に早まる中、その備えは最も重要な緊急の課題でございます。高齢社会は、言い換えますと高齢者が主役の社会でございます。これまで本市の高度成長を支えてこられた方々が、生きがいをもちつくると同時に、住み慣れた地域で安心して暮らしていくいただき、世代を超えた地域住民とのつながりや家族のつながりを大切にした都市づくり、いわば心の問題にも取り組まなければなりません」と考えております。

このほかにも、行政に求められるサービスは、量、質ともにますます複雑化、多様化している市議会といたしましても、市民皆様の声を市政に反映させるため、議決機関の機能を十分發揮させ、今後とも研鑽と創意工夫を重ね、市民の皆様の負託にこたえるべく、鋭意努力する決意を新たにいたしておりますところでございます。

本年も、真に豊かで安らぎのある都市づくりのため市民の皆様の相変わらぬご支援とご協力を心からお願い申し上げます。年頭にあたり、市民の皆様の健康とご発展を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

大分市は、人口も42万人を超え、50万・60万都市を目指して着実に前進しており、今こそ将来を見据えた都市計画を決定する時期だと考えます。そのため、今年は、道路、上・下水道の3道の整備を主体とした各種基盤整備にあわせ、大分駅の高架化と周辺整備事業の事業化に努めるとともに、大分市全体のグランドランドデザインとランとしての総合都市整備基本計画の策定や2001大分プランの見直しなどを行います。

また、高次の都市機能の充実を図るために、FAZ（輸入促進地域）構想の推進や県が進める次本町街並み環境保全基本構想の具現化や旧県立図書館の活用などに取り組みます。

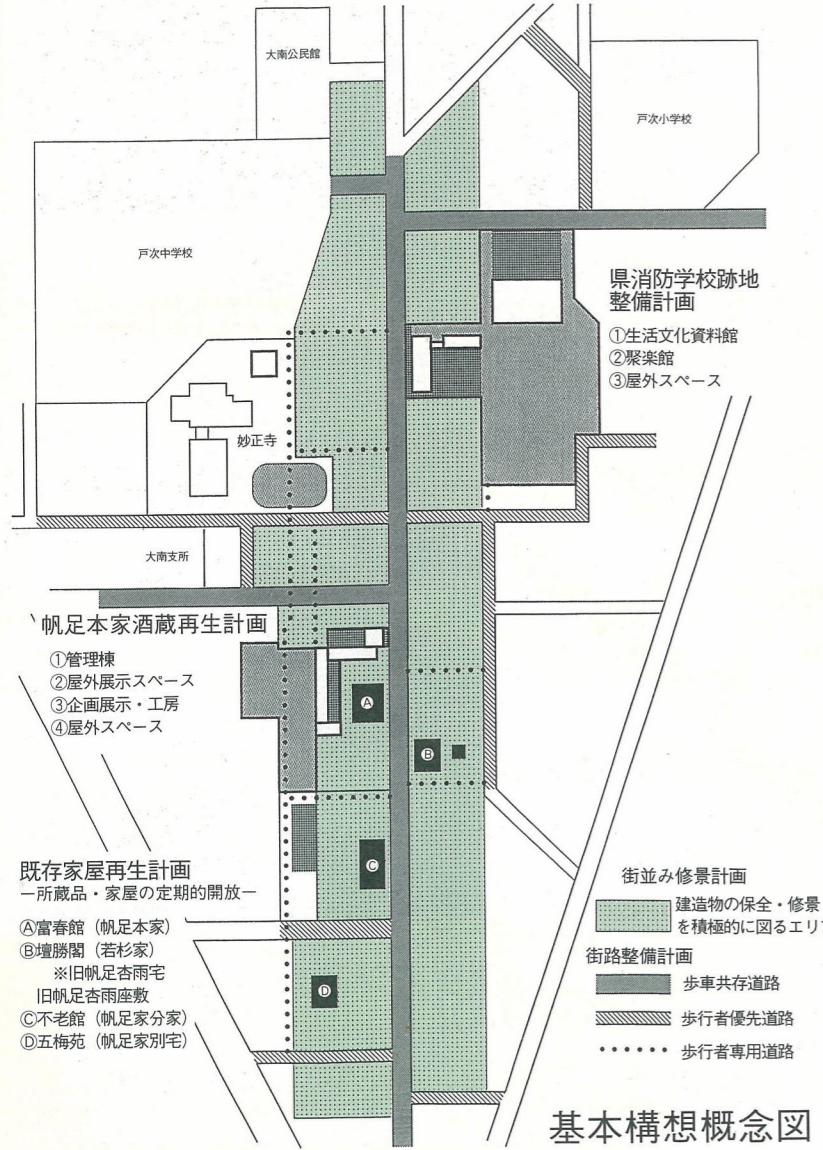
農業、商業につきましては、農業者と商業者、そして消費者が一体となり、農業製品の流通について考える研究会を組織し、消費者のニーズにこたえられるよう、農業の振興と商業の活性化を組み合わせた事業を進めてまいります。

また、まちの魅力はそこに住む人の魅力でもあります。魅力ある人づくりのために、教育・学習施策の推進に力を入れる考えです。  
年頭にあたり、大分市の都市づくりの一端を述べましたが、これからも「元気都市おおいた」の未来を、皆様と一緒に見てつくりあげていく所存です。市民の皆様には、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年がよき年でありますようお祈りし、新年のごあいさつといたします。



# ざい まち 在町の再生と

『文化の継承』・『住環境の整備』

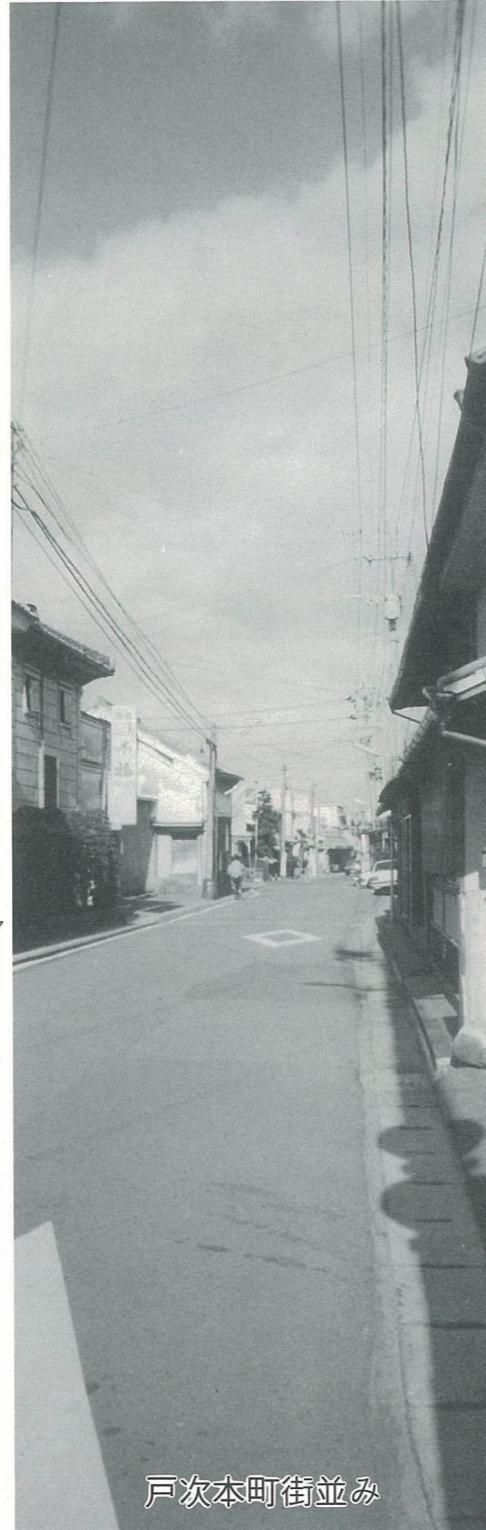


基本構想概念図

**基本構想の概要**  
構想の骨格は、  
①街並み修景計画  
②県消防学校跡地利用計画  
③帆足本家酒蔵および既存家屋  
施設再生計画  
④街路整備計画  
⑤妙正寺、その他の整備計画  
⑥広域的整備計画

「在町の再生と市の復活の実現」を目標に、戸次地区の「文化の継承」、「住環境の整備」を進めます。

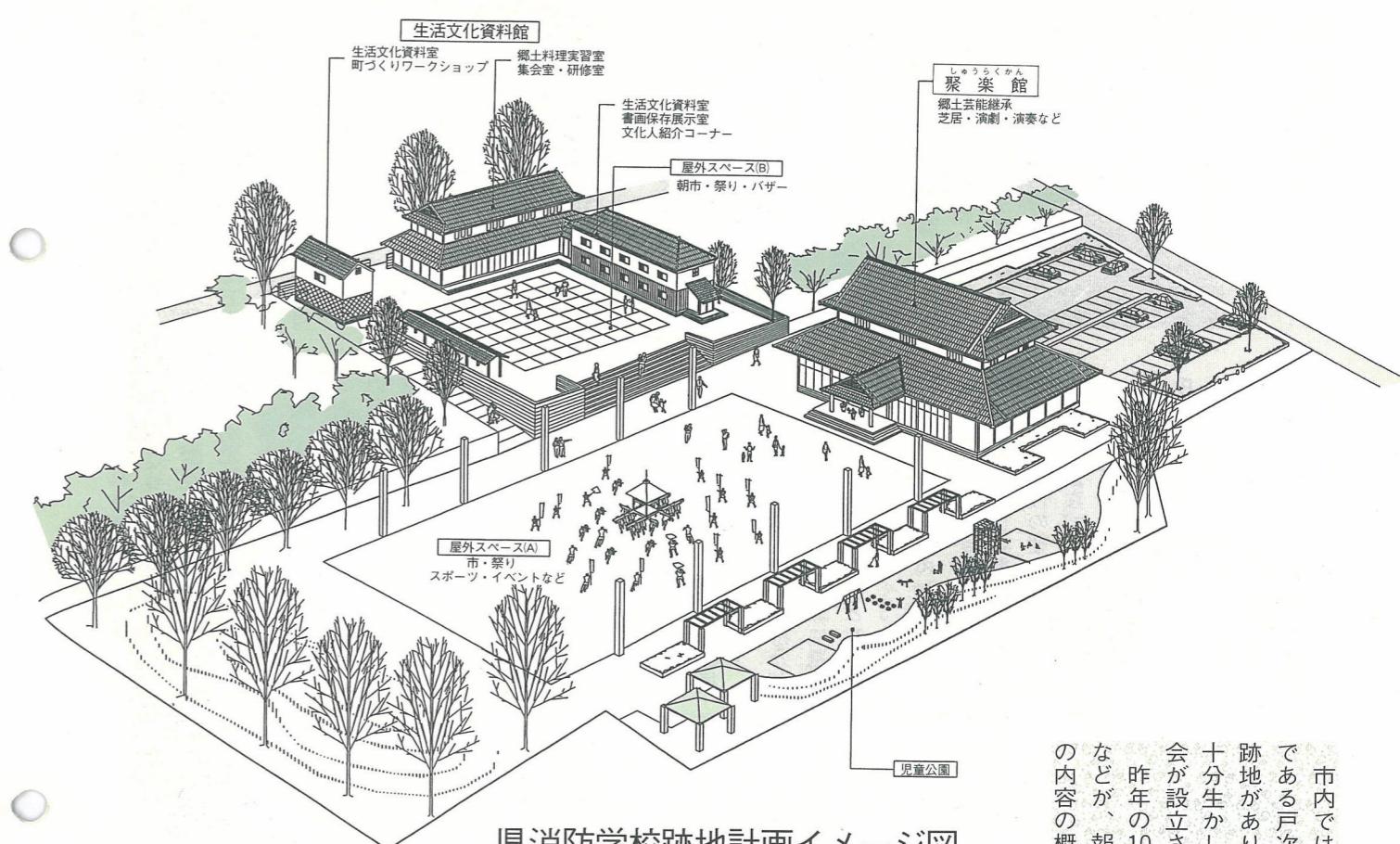
▽問合せ先 公園緑地課 (34) 6111内線1834へ。  
の6項目から成り立っています。



戸次本町街並み

# いち 市の復活の実現

～戸次本町街並み環境保全基本構想～



県消防学校跡地計画イメージ図

市内では数少ない貴重な歴史的街並みの残る戸次地区。その中心である戸次本町に、貴重なオープンスペースとして大分県消防学校跡地があります。この活用に当たっては、地域全体の文化・歴史を十分生かしていくこと、地元関係者を中心とした基本構想策定委員会が設立され、総合的なまちづくり構想を検討してきました。昨年の10月31日、委員会から「戸次本町街並み環境保全基本構想」などが、報告書として市長へ提出されました。そこで、今回は、その内容の概要についてお知らせします。

## 在町再生の意義と今後の方向

戸次本町は、江戸時代、日向街道筋の在町として栄えた市内で数少ない貴重な歴史的街並みの残る地区です。

府内城を中心とする城下町から始まった市の中心市街地は、太平洋戦争の空襲により主部を被災消滅し、その面影を残す景観を見出すことは少なくなりました。

城下町と対置されるのが、在郷の中心として形成された市場のある村・在町であり、戸次本町はその一つでした。これまで、城下町の保全には全国的にかなり取り組まれた経緯がありますが、在町については比較的少なく、その意味でも重要です。

戸次地区には、江戸時代末期から戦前にかけて繁盛していたころの街並みの背景となる建造物が存在し、現在もまだ活用されています。しかし、これまでに消滅したものも多く、今後急速に壊されていくことが予想され、時期的に街並み景観保全への取り組みが要請されています。

1位



### ▲村山総理誕生（455票）

6月30日、村山富市衆議院議員が大分市出身者として初めて内閣総理大臣に就任しました。サミット、景気対策、円高など国内外での重要課題が山積みの中での村山内閣の船出になりました。



### ▲林享選手アジア大会で金メダル（341票）

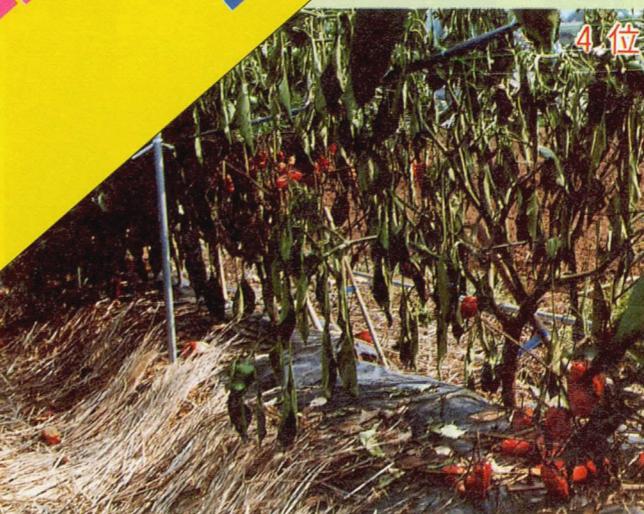
林享選手が、アジア大会男子競泳で、100m平泳ぎと、400mメドレーリレーで金メダル、200m平泳ぎで銀メダルを獲得しました。福岡でのユニバーシアード大会や次のアトランタ五輪での活躍が期待されます。

3位



### ▲ガレリア竹町、府内5番街、鶴崎ミルキーウェイオーブン（425票）

大分市中心部商店街や鶴崎商店街が、イメージ新リフレッシュ。日本一の横幅を誇るドーム型の屋根、からくり時計、鶴崎踊のモニュメントなど、それぞれのまちの特徴を生かしたおしゃれな商店街になりました。



4位

### ◀記録的な猛暑（329票）

記録ずくめの真夏日が続いた日本列島。大分市も連続雨なし日数が24日という異常気象に見舞われました。7月には市で初めての渇水対策本部を設置し、市民の皆さんに節水の呼び掛けをしました。

△ふないアクアパークオープン（262票）  
街の中にオアシス誕生。若竹公園が水をテーマに「ふないアクアパーク」として、7月23日にリフレッシュオープンしました。



### △日吉原レジャープールオープン（231票）

7月21日に日吉原レジャープールが改修オープン。全長85mの流水プールや曲状ウォータースライダーなど、充実した設備に子供の歓声が響き渡っていました。



### △のつはる少年自然の家オープン（219票）

野津原荷尾杵の標高約700mの高台に建設された「のつはる少年自然の家」が5月12日オープン。400ミリ反射望遠鏡や天体観測ドームを備えた施設で、子供たちが楽しく活動をしています。

8位



### △県立図書館移転（210票）

28年間利用された県立図書館が移転。王子町の新しい県立図書館は、地下1階、地上6階で160万冊の収蔵能力があり、まもなく開館します。



### △景気回復宣言（122票）

長びく不況にひとすじの光明が。10月26日、日本銀行の総裁が「景気はゆるやかに回復しつつある」と発表。2年8カ月ぶりの明るい話題となりました。



### △老人保健福祉計画の策定（110票）

高齢者の健康づくりや生きがい対策などを推進する「大分市老人保健福祉計画」を2月に発表。この計画により、老後の充実した保健福祉サービスの整備が進みます。

市民の皆さんに選んでいただいた、平成6年大分市10大ニュース。457人の方々からご応募いただき、その中から抽せんで5の方に記念品を差し上げました。

・足立容子さん（光吉台）・戸次好子さん（中判田）・佐藤満寿美さん（森町）・田島千依さん（志村）・江藤有美さん（北下郡）







**冬はすばるを見ようよ'95**

▷日時 1月27日(金) 午後5時30分～9時30分  
 ▷場所 コンパルホール  
 ▷定員 100人(先着順)  
 ▷内容 大気の話、星座の話、星座観察  
 ▷申込方法 電話で環境対策課(☎④6111内線1513)へ。  
 (環境対策課)

**大分市の面積と人口**

面積 359.88km<sup>2</sup>  
 人口 423,033人(+403人)  
 男 205,696人(+201人)  
 女 217,337人(+202人)  
 世帯数 155,078世帯(+190世帯)  
 (北下郡 末松圭史ちゃん)  
 (11月末の住民登録人口から(前月比))

**いき・生き粹大分'95**

2月12日(日)に行われる「ザ・生き粹大分'95」のイベント出場者を募集します。奮ってご参加ください。

**◎ストリートパフォーマンス**

▷場所 ガレリア竹町特設ステージ  
 ▷内容 音楽やダンス、その他のパフォーマンス  
 ▷問合せ先 大分信用金庫業務部(☎④5155)へ。

**◎ストリートバスケット(3オン3)**

▷場所 若草公園  
 ▷対象者 中学生、高校生、大学生、社会人  
 ▷問合せ先 大分県信用組合総合企画部(☎④8577)へ。

**◎フットサル(5人制室内サッカー)**

▷場所 コンパルホール5階市民体育館  
 ▷対象者 高校生、大学生、社会人  
 ▷問合せ先 市サッカー協会(☎④9988)または、トップスポーツ(☎④8111)へ。  
 ☆申込期限 いずれも1月31日まで。(総合企画課)

**いき・生き粹大分アートフェスタ「芸能まわり舞台」**

▷日時 1月22日(日) 正午～  
 ▷会場 大分文化会館大ホール  
 ▷内容 仕舞、日舞、民踊、琵琶、長唄、洋舞、詩吟、筝曲、民謡  
 ▷入場料 1,000円(文化振興課に入場券はあります)  
 ▷問合せ先 文化振興課(☎④5663)へ。

**20歳のあなたへ  
大分市成人記念集会**

▷日時 1月15日(日) 午前10時30分～11時40分(午前10時受付)

▷場所 大分文化会館大ホール  
 ▷対象者 本人あてに案内状は差し上げませんが、昭和49年4月2日から50年4月1日までに生まれた大分市民の方はご参加ください。

▷その他 ①参加者には記念品を差し上げます。②臨時駐車場として、中島小学校と荷揚町小学校を用意しています。(雨天時は使用できません)なお、なるべくバスなどの交通機関をご利用ください。  
 ▷問合せ先 生涯学習課(☎④6111内線2043)へ。

**消防出初式**

▷日時 1月8日(日) 午前8時30分～

▷場所 平和市民公園多目的広場

▷内容 人員服装点検、演技(消防団ラッパ隊のドリル吹奏、ポンプ車および小型ポンプ操法、古典はしご操法など)、表彰

▷参加人数 約2,000人

▷参加車両 約150台

▷その他 雨天の場合は、消防局講堂で式典のみを行います。(消防局)

**能楽堂の催し(☎⑤5511)**

催し物の名称	日 時	内 容	料 金
別府井本朋精会 初詣会	1月8日(日) 午前9時30分～午後5時	観世流 素謡・仕舞	無 料
三美代の会 チャリティー舞初会	1月22日(日) 午後1時～4時	日本舞踊	全席自由席 1,000円
大分井本朋精会 初詣会	1月29日(日) 午前9時30分～午後5時	観世流 素謡・仕舞	無 料

**フレッシュおおいた****1月7日(土) 元気都市おおいたの未来～木下市長新春インタビュー～**

年頭にあたって、木下市長に昨年までの市政運営と、今年の抱負、これから都市づくりを語ってもらいます。

**1月14日(土) シリーズ大分市の歴史を訪ねて～江戸時代③～**

江戸時代3回目の今回は、初瀬井路や府内の特産品であった海苔づくりなどのほか、御城下絵図などに見られる庶民の暮らしぶりを紹介します。

編集子ひとこと ◎新年明けましておめでとうございます。昨年は異常渇水のニュースが全国を駆け巡りました。水は生命の源、水質の保全に心掛け大切に使いたいものです。今年も、新しい視点で、楽しく読んでいただき、大切にしていただける市報づくりに課員一同全力をあげて取り組みます。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。…(広聴広報課長 坪根)